

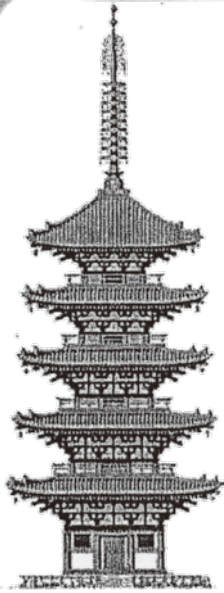
# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、あけましておめでどうございませう。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

かわら版はまもなく二〇〇号を迎えます。節目の今年は**実録・覚王山日泰寺縁起**をお伝えします。お付き合ひのほど、よろしくお願ひ致します。

## ★「日本」と「タイ」で日泰寺

覚王山日泰寺の縁日には、県内各地からの参拝客に加え、県外や海外からも観光客が訪れます。

覚王山日泰寺の縁日は「**弘法さん**」と呼ばれて親しまれています。しかし、どうして「弘法さん」の縁日が立っているのでしょうか。

名古屋弁的に表現すると「そりゃあ、おみやぐさま、弘法さんがおるんでしょ、日泰寺の中に」と連想する方もいると思いますが、それは違います。

日泰寺本堂に祀られている**ご本尊**は、タイ国王から寄贈された**釈尊金銅仏**です。

正面には**フミポン国王**(ラーマ九世、一九二七〜二〇一六年)直筆の勅額が掲げられており、タイの文字



ご本尊とフミポン国王の勅額



チュラロンコン国王立像

で「釈迦牟尼仏」と記されています。勅額の両側には、フミポン国王と**チュラロンコン国王**(ラーマ五世、一八六八〜一九一〇年)のご紋章が輝いています。

さらに、本堂の左側にはチュラロンコン国王の立像(一九八七年建立)があり、タイ国旗が掲げられています。

ここまで書くと、お気づきのことと思います。日泰寺は「日本」と「タイ」で日泰寺です。

なぜ名古屋のこの場所に「日本」と「タイ」で日泰寺というお寺が創建されたのか。今年のかかわら版は、その歴史をお伝えしていきます。

## ★一八九八年(明治三十一年)

**お釈迦さま**は今から約二五〇〇年前の人です。本名を**ゴータマ・シッダルタ**といい、**シャークヤ(釈迦)**の王子として生まれました。

二十九歳の時に修業の旅に出て、三十五歳で覺りを開き、後世、お釈迦さまと呼ばれるようになりました。

**仏教**、**キリスト教**、**イスラム教**は世界三大宗教と言われますが、**イエスは約二〇〇〇年前の人**、**ムハンマドは約一四〇〇年前の人**。お釈迦さまと仏教が一番古い時代です。

西洋では、イエスもムハンマドも実在の人物として扱われてきました。一方、お釈迦さまについては、つい百年ほど前まで実在の人物ではないと考えられていました。日本人やアジアの人々にとっては意外なことでした。

ところが、今から百二十一年前の**一八九八年(明治三十一年)**、インド北部、ネパールの国境付近の**ピプラーワー**という場所でお釈迦さまの遺骨(**仏舍利**)が発見されました。

日本を含むアジアの仏教国では、**仏舍利**が伝承されています。その信憑性は高くなく、中には**石英**や**ルビー**といった鉱石や、人骨ではないものが祀られている場合もあります。

ところが、**ピプラーワー**で発見された**仏舍利**は西洋の歴史学、考古学、宗教学の分野でも、**本物のお釈迦様の骨(ご真骨)**であると認識され、この発見を契機にお釈迦さまは実在の人物であったと考えられるようになりました。

そして、そのご真骨が覚王山日泰寺に祀られているのです。「どえりゃくことだがや」と思われた人も多いと思いますが、そうです、「どえりゃくこと」なのです。

今年のかかわら版、覚王山日泰寺が創建され、ご真骨が祀られた経緯をお伝えします。題して、**実録・覚王山日泰寺縁起**です。

## ★八大聖地

さて、来月は**仏舍利**が発見された**ピプラーワー**がどこにあったかをお伝えします。お釈迦さまの**八大聖地**のひとつ、**ルンビニー**の近くと知られています。乞ご期待。



21日、「弘法さん」の市で賑わう覚王山日泰寺